



個人投資家向け説明会資料

株式会社イトーキ（東証プライム:7972）

2024年4月15日



本日の流れ

- 1 会社概要
- 2 業績
- 3 株主還元
- 4 中期経営計画



1. 会社概要

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 会社名 | 株式会社イトーキ |
| 本社所在地 | 〒103-6113 東京都中央区日本橋二丁目5番1号 |
| 代表者 | 代表取締役社長 湊 宏司 |
| 創業 | 1890年12月1日 |
| 設立 | 1950年4月20日 |
| 決算期 | 12月 |
| 資本金 | 5,294百万円 |
| 従業員数 (連結) | 3,892名 |

■ワークプレイス事業



■設備機器・パブリック事業



事業内容

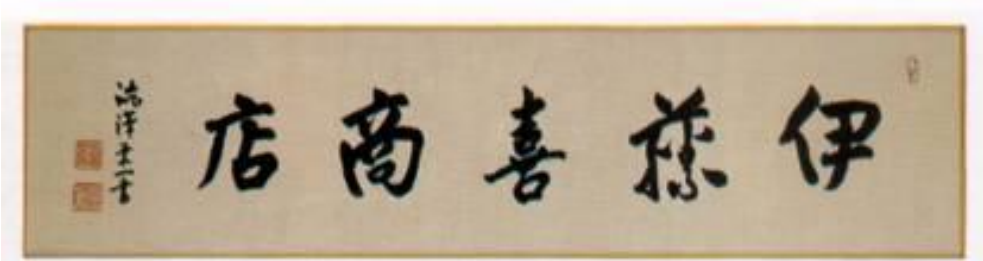
上場市場 東証プライム市場 (7972)

(2023年12月31日現在)

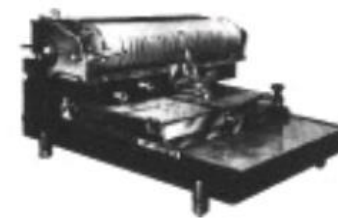
1890年に伊藤喜商店として創業し、 今年で創業から133年を迎える



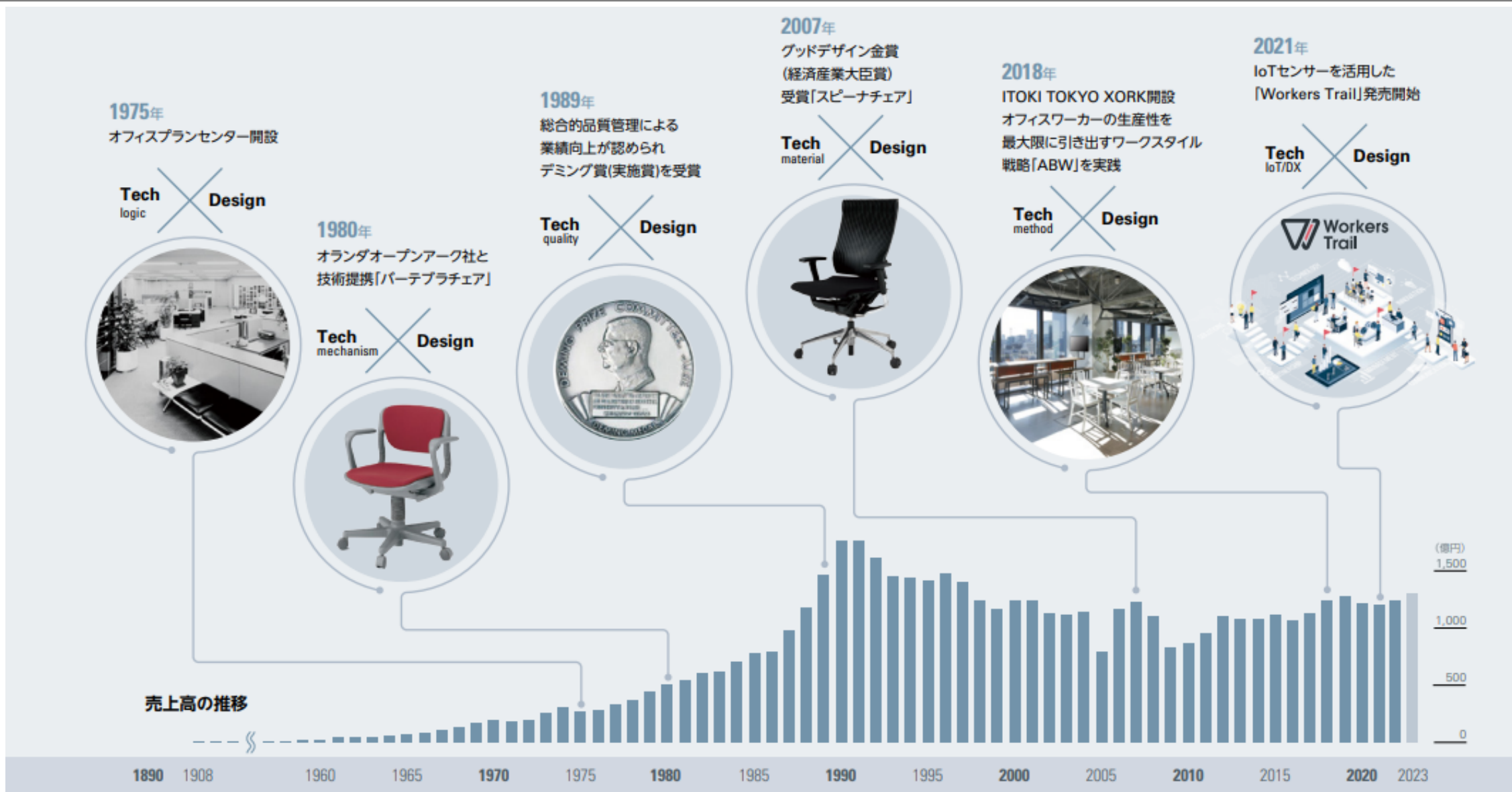
発明特許品の普及、輸入品を取り扱う「伊藤喜商店」を創業



渋沢栄一揮毫の「伊藤喜商店」看板。渋沢栄一翁の支援の1社



ゼニアイキ（金銭記録出納機）をはじめ、世の中にないものを
生み出してきた



MISSION STATEMENT

明日の「働く」を、デザインする。

We Design Tomorrow. We Design WORK-Style.

私たちは、心と身体の健康を維持し、高い生産性を実現しながら、力強い創造性を発揮し、そして価値あるイノベーションを生み出していく、そういった、人びとの「働く」という活動を支援していきます。

私たちは、常に「人」を中心に据えた思考を持ち、明日へとつながる、新鮮で価値ある、充実した「働く」をデザインし、お客様の働く「空間」「環境」「場」づくりを実践していきます。

1962年



イトーキによって
日本初の「学習デスク」
が誕生

1990年～



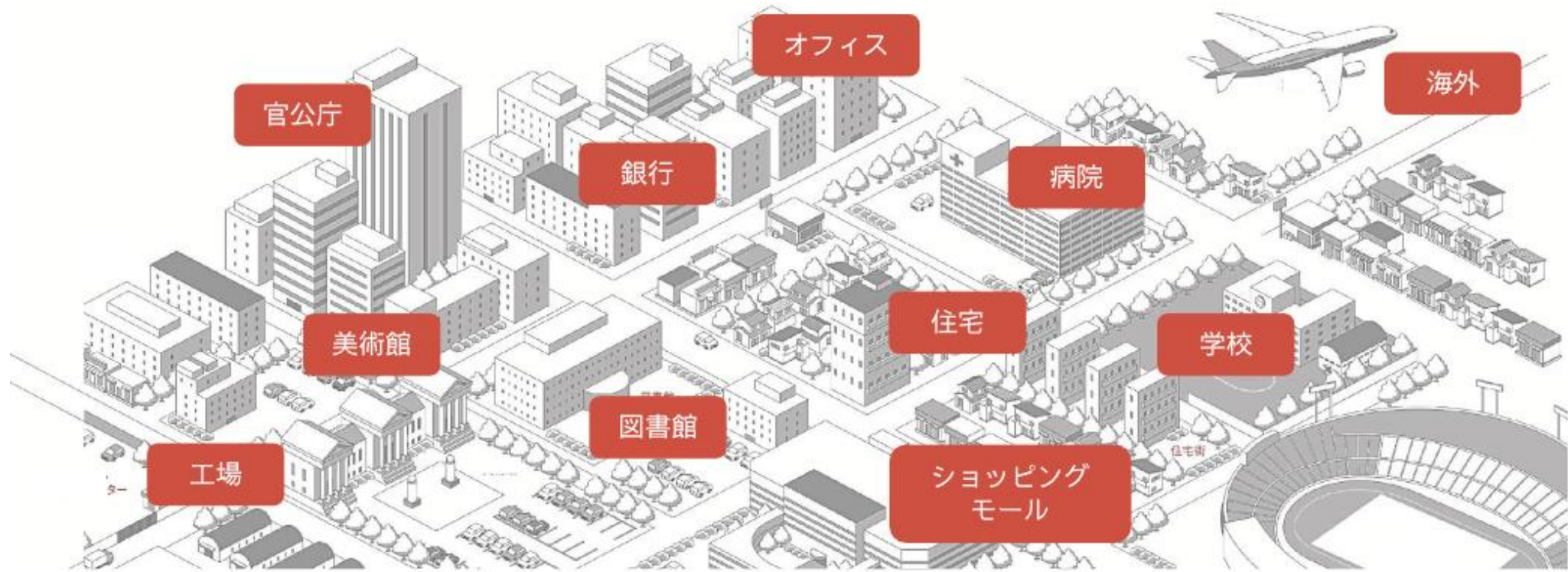
パソコンが一般家庭に普及し始めたのにあわせ、
学習机もパソコンを置けるタイプのものが登場

2020年～



機能性だけでなく、こだわりのデザイン
テイストを持った個性豊かな学習机へと進化

あらゆる“空間づくり”をサポートしています



2つの事業によって構成

ワークプレイス事業

942億円 | 70.9%

「働く環境」づくりを支援

設備機器・パブリック事業

368億円 | 27.7%

社会インフラを支えるためのものづくりや、物流施設、公共施設などに向けた設備の提供や空間づくりを支援

連結売上高
(2023年度)

1,329 億円



ワークプレイス事業（オフィスの事業）



会議室



ワークスペース



ラウンジ



キャビネット



Webブース

Before



オフィス空間の変化

After

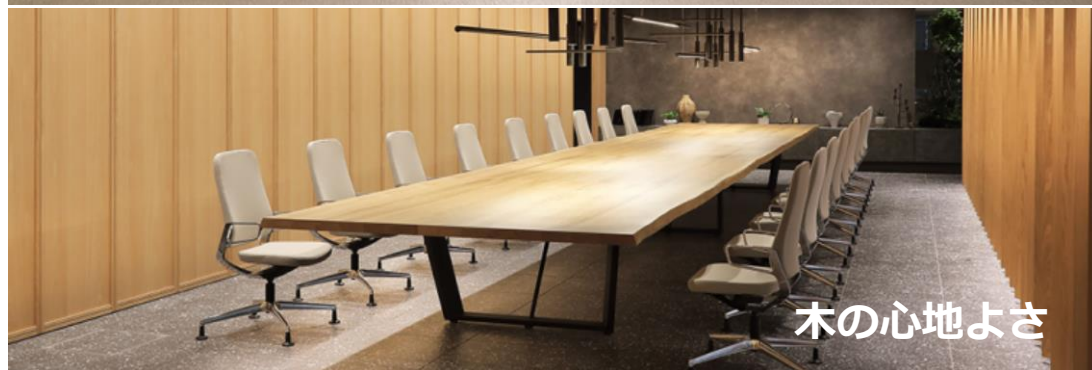




ITOKI TOKYO XORK 13階



照明の心地よさ（木漏れ日）



木の心地よさ



ITOKI TOKYO XORK 受付



AV・ICT機器×木質製品



大型LEDディスプレイ



アート×オフィス空間



Webブース



パーティション (建材)

医療福祉施設 / 自治体庁舎 / 公共施設



病院（待合スペース）



病院（スタッフステーション）



病院（病室）



病院（診察室）



役所（窓口）



役所（総合案内）



役所（議場）



役所（待合スペース）





物流設備



倉庫設備



研究所・実験設備

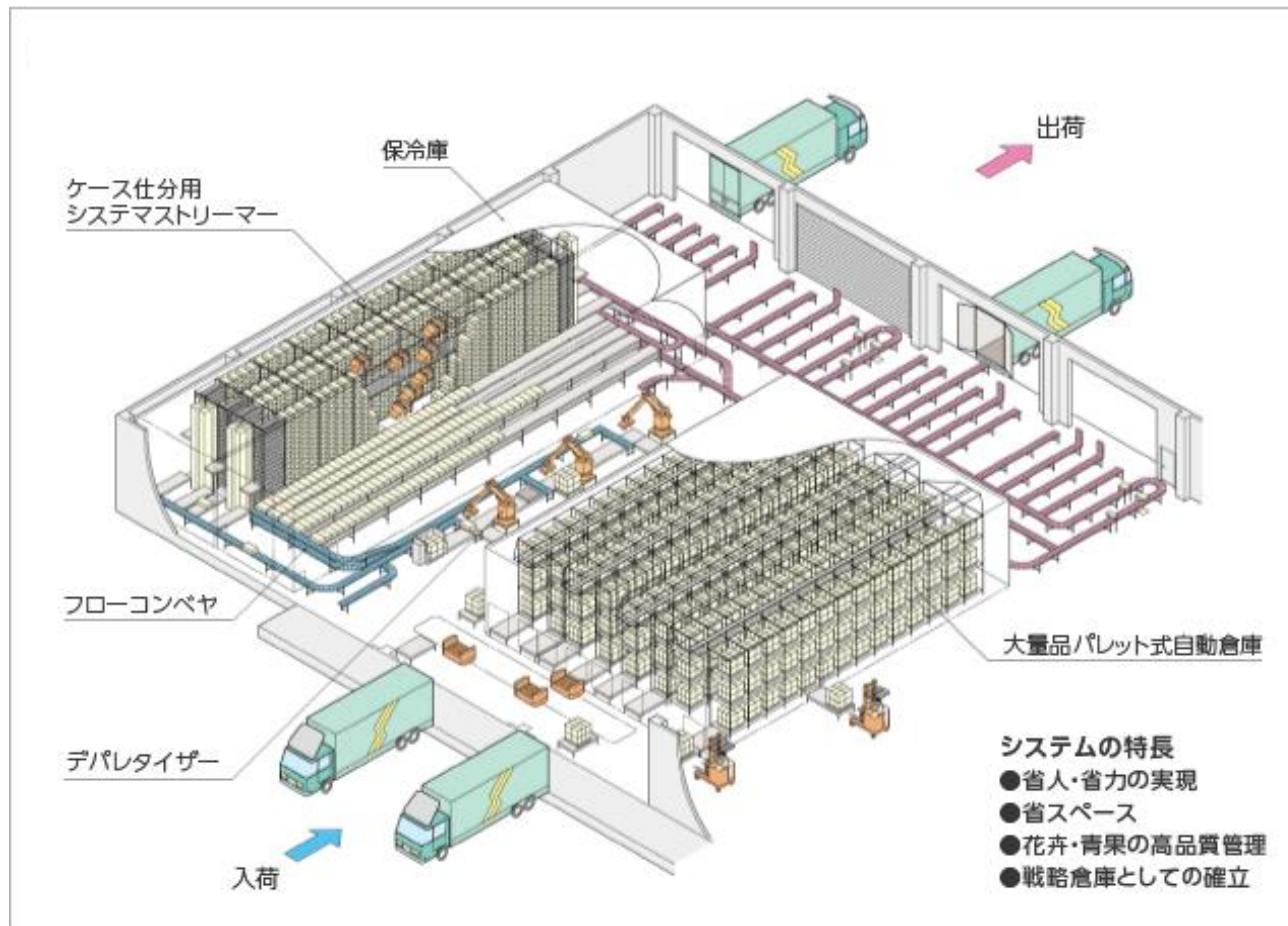


大型金庫扉



システムストリーマー SAS [サス]

物流業界の人手不足・業務量増加を「自動化」で解決
革新の「シャトル台車式自動倉庫」



- システムの特長
- 省人・省力の実現
 - 省スペース
 - 花卉・青果の高品質管理
 - 戦略倉庫としての確立



互いに培った科学研究施設のノウハウを融合し、
研究室とオフィスのシームレスな環境づくりをトータルにサポート



局所排気装置
「ドラフトチャンバー」



株式会社ダルトン【連結子会社】

創業：1939年9月

資本金：1,387百万円

本社所在地：東京都中央区

主な事業の内容：研究・教育関連設備の設計・製造・販売、粉体処理機械の
設計・販売、ハイテクプラントシステムの設計・販売



2024年1月より発売
ラボシステムの新ブランド「MAGBIT（マグビット）」

新型展示ケース「Artivista（アルティビスタ）」を開発し、東京国立博物館に納入
美術館、博物館、劇場など魅力ある環境・空間づくりで、地域の活性化にも貢献



国内拠点（大規模拠点・生産工場）

主要拠点のほか全国に拠点を設置
全国のお客様のあらゆる“空間づくり”をサポートしています



ASEAN、中国を中心に海外展開



本日、お伝えしたいこと

- ✓ **好調な業績推移と株価推移**
- ✓ **時価総額が向上**
- ✓ **2024年2月に新中期経営計画を発表**
- ✓ **2026年経営数値としてROE15%達成および配当性向40%以上を目指す**



2. 業績

2023年12月期 通期業績ハイライト

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益 過去最高更新

売上高

1,329億円

前期比
+7.8%



営業利益

85億円

前期比
+86.0%



営業利益率

6.4%

前期比
+2.7pts



ROE

11.3%

前期比
前期特損益除く
実質ベース +5pts



PBR

1.11倍

(2023年12月29日時点)

前期比
+0.56pts



配当性向

32.2%

前期比
+0.6pts



2023年12月期 連結業績

リニューアル案件やオフィス移転などを中心に売上高は好調に推移
増収効果および提供価値の向上による利益率の改善により大幅増益

2023年1月1日～2023年12月31日 単位：億円

| | 22/12 実績 | | 23/12 実績 | | 増減 | | 通期修正予想 (8/7開示) | |
|---------------------|-------------|-------|-------------|-------|-----|---------|-------------------|--------|
| | 金額 | 売上比 | 金額 | 売上比 | 金額 | 増加率 | 金額 | 達成率 |
| 売上高 | 1,233 | — | 1,329 | — | +96 | +7.8% | 1,300 | 102.3% |
| 売上原価 | 775 | 62.9% | 807 | 60.7% | +31 | +4.1% | — | — |
| 売上総利益 | 457 | 37.1% | 522 | 39.3% | +64 | +14.2% | — | — |
| 販管費 | 411 | 33.4% | 437 | 32.9% | +25 | +6.2% | — | — |
| 営業利益 | 45 | 3.7% | 85 | 6.4% | +39 | +86.0% | 75 | 113.6% |
| 経常利益 | 41 | 3.4% | 85 | 6.4% | +43 | +104.8% | 75 | 114.1% |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 52 | 4.3% | 59 | 4.4% | +6 | +11.5% | 48 | 123.0% |

| 連結貸借対照表 要旨 | 2022年 12月末 | 2023年 12月末 | 増減 | 摘要 |
|---------------|---------------|---------------|------------|----------------|
| 流動資産 | 710 | 733 | 23 | 売上好調に伴う売掛債権の増加 |
| 固定資産 | 442 | 441 | △1 | 減価償却等による減少 |
| 資産合計 | 1,152 | 1,174 | 22 | |
| 流動負債 | 490 | 473 | △17 | 未払法人税等の減少 |
| 固定負債 | 162 | 150 | △12 | 長期借入金の返済による減少 |
| 負債合計 | 653 | 624 | △29 | |
| 株主資本合計 | 491 | 534 | +43 | |
| 純資産合計 | 499 | 549 | +50 | |

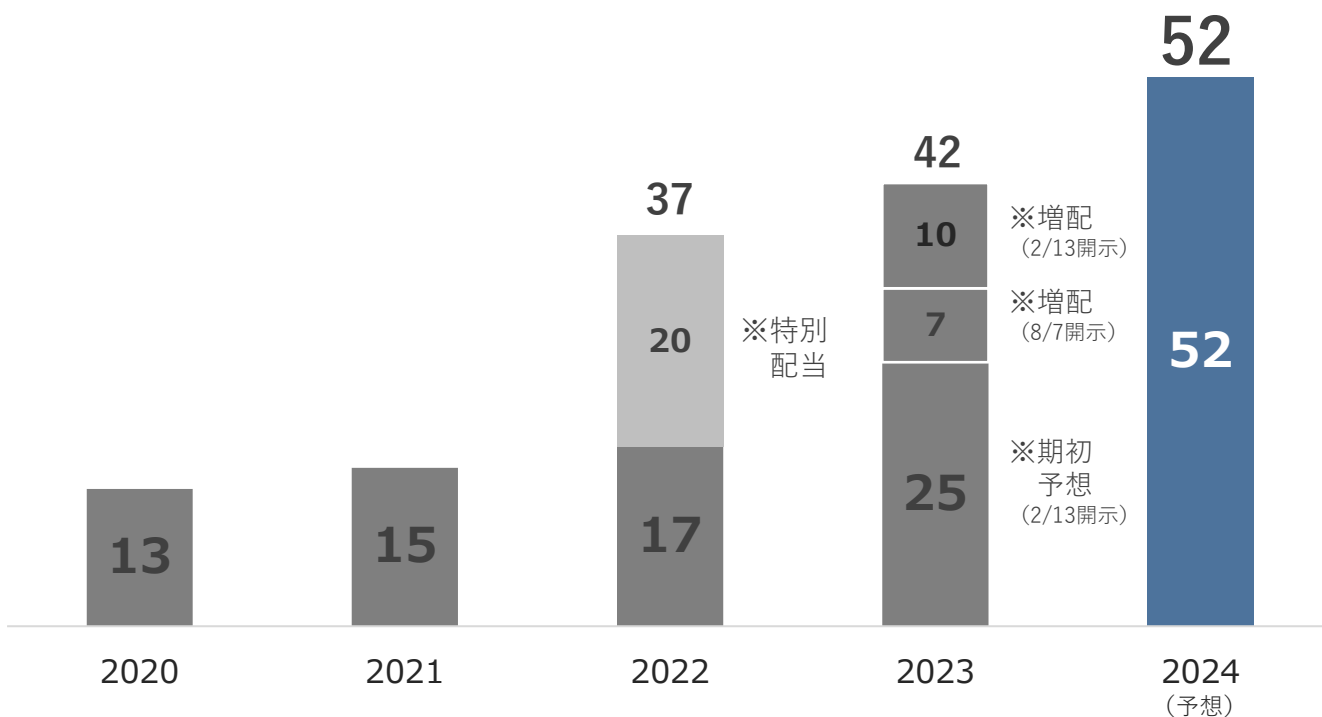
| 連結キャッシュフロー計算書 要旨 | 2023年 実績 | 摘要 |
|---------------------|-------------|--------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 63 | 税金等調整前当期純利益等による増加 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △40 | ITOKI TOKYO XORKのリニューアル等の戦略的支出 |
| フリーキャッシュ・フロー | 23 | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △41 | 借入金の返済、及び配当金の支払による減少 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △17 | |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 236 | |

3. 株主還元

配当金、配当性向

1株当たり年間配当金（円）の推移

配当性向 31.6% 32.2% 36.1%



安定配当



配当性向40%を目指す

株主優待制度の内容

(1) 対象となる株主様

毎年6月末日時点の当社株主名簿に記載または記録された、**5単元（500株）以上**を保有されている株主様を対象といたします。

(2) 優待内容

A：イトーキ オンラインショップ（本店サイト） にご利用可能なクーポンコード（30%割引）（※1）

B：イトーキ オリジナルグッズ詰め合わせ（3,000円相当）

C：寄付（優待相当額 3,000円）（※2）

D：日本橋本社（ITOKI TOKYO XORK）オフィス見学（※3）



（※1）

- ・他のクーポンとの併用不可。
- ・ご利用限度額20万円（ご利用限度額：30%割引が適用されるお買物の上限額）。
- ・クーポンコード有効期限は、翌年9月30日まで。
- ・クーポンコード有効期限内で、1回限り有効。

（※2） 寄付先につきましては、株主様に代わって当社が別途決定する認定NPO団体等にまとめて寄付させていただきます。

（※3） 開催日程等につきましては、当社ホームページ等で改めてご案内していく予定です。定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。

株主優待品の内容等につきましては、当社ホームページ等で改めてご案内していく予定です



4. 中期経営計画

2024-2026中期経営計画 新中計の位置づけ

VISION STATEMENT

人も生き活き、地球も生き生き

MISSION STATEMENT

明日の「働く」を、デザインする。

《拡大・創出フェーズ》

シン・イトーキ

新たな価値を確立する

2027-2029

《高収益化フェーズ》

持続的な成長力を高める

RISE TO GROWTH 2026

2024-2026

《体質改善フェーズ》

収益体質の作りこみ

RISE ITOKI 2023
2021-2023

「RISE TO GROWTH 2026」をキャッチフレーズに掲げ、
2026年度を最終年度とする中期経営計画の達成に向け取り組んでいます



2026年
数値目標

売上高

1,500億円

(2023年度実績：1,329億円)

営業利益

140億円

(2023年度実績：85億円)

営業利益率

9%

(2023年度実績：6.4%)

ROE

15%

(2023年度実績：11.3%)



1

Office1.0／2.0 領域※

新しい働き方やその働き方を実装するオフィス空間などに対し、付加価値提案を強化し、売上と利益のベースを確保する

2

Office3.0領域 ※

オフィス家具のIoT化と空間センシングにより、データドリブンで、最適な働き方・オフィス空間を提供するサービスを開発する

3

専門施設領域

物流施設領域・研究施設領域において
開発・エンジニアリングにリソースを重点配分し、第2の柱に育成する

4

高収益化

グループ生産供給体制の再編と社内ITインフラの刷新により
生産・業務効率を高める

5

グループシナジー

イトーキ単体で実施した構造改革プロジェクトによる成功体験を
グループ会社に水平展開し、グループシナジーを追求する

6

人的資本

人事制度改革を軸に、社員1人1人の主体的かつ能動的な
「創意と工夫」を啓発する

7

財務戦略

中長期の観点から、
成長戦略投資・社員還元・株主還元を計画的に実践する

※Office 1.0：プロダクトベースの商品販売事業 / Office 2.0：空間ベースの商品ソリューション提供事業

※Office 3.0：働き方ベースのオフィスDX事業

「家具を売る」から「働く空間のDX推進の提案」へ

次なる成長のエンジン

OFFICE
2.0



空間ベースの
ソリューション提供ビジネス

OFFICE
1.0



プロダクトベースの
商品販売ビジネス

差別化された新商品群

OFFICE
3.0



働き方ベースの
オフィスDXビジネス

データを活用した
オフィス運用サポート

- ・ 空間デザイン
- ・ 働き方コンサル

付加価値・競争優位性

生産性向上とWell-beingにつながる働き方を分析



2024年12月期 業績予想

中期経営計画の初年度として、重点戦略：7Flagsを実践することにより
 連結売上高は、+3.4%（ワークプレイス+5.0%、設備機器・パブリック+0.4%）を見込む
 連結営業利益は、100億円、+17.3%の増益を見込む

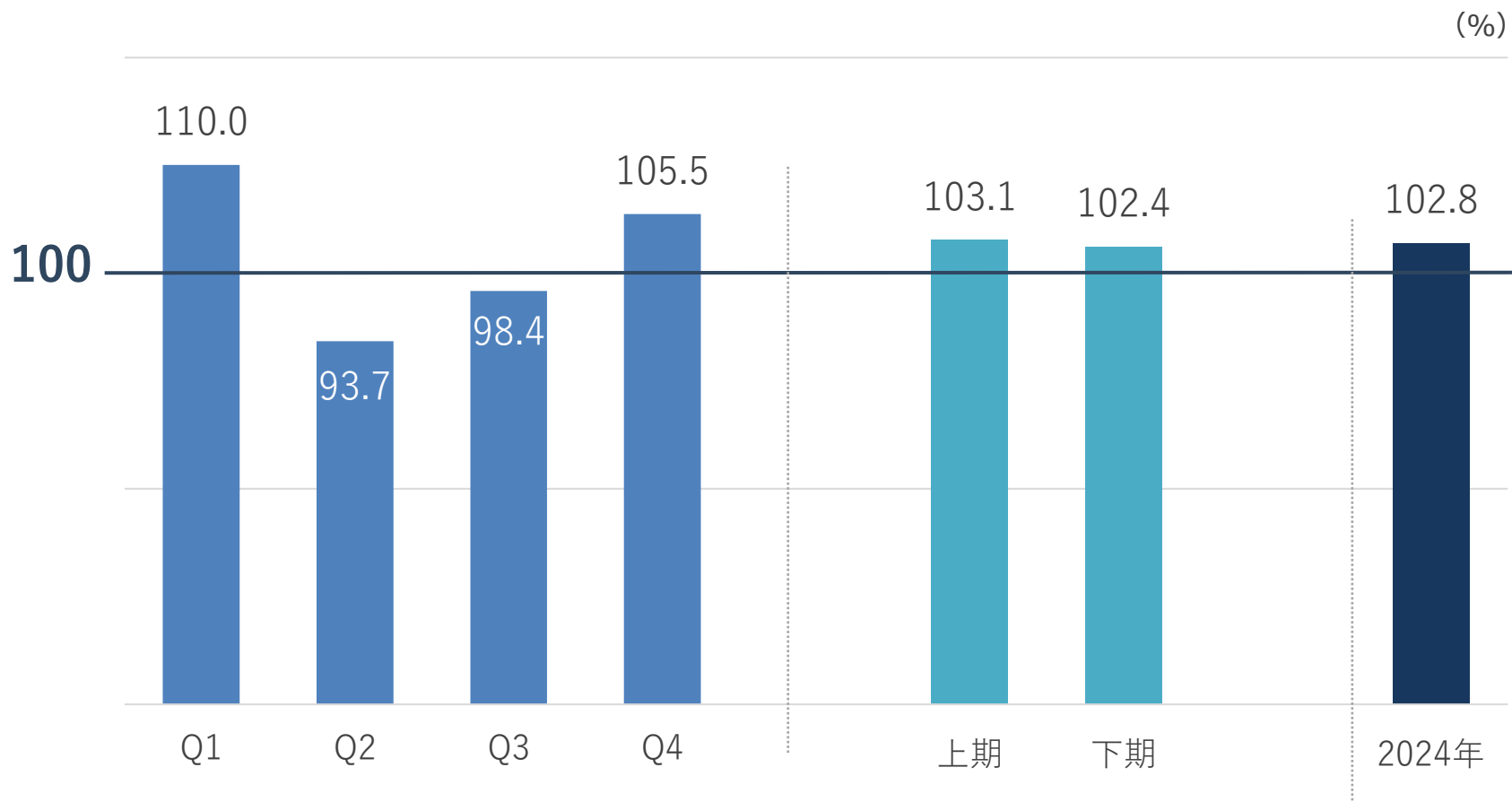
2024年1月1日～2024年12月31日 単位：億円

| 【連結】 | 2023年12月期 実績 | 2024年12月期 予想 | 増減 | |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----|---------|
| | | | 金額 | 増加率 |
| 売上高 | 1,329 | 1,375 | +45 | +3.4% |
| 営業利益 | 85 | 100 | +14 | +17.3% |
| 経常利益 | 85 | 100 | +14 | +16.9% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 59 | 70 | +10 | +18.5% |
| 〔営業利益率〕 | 〔6.4%〕 | 〔 7.3% 〕 | — | +0.9pts |

| 【セグメント】 | 2023年12月期 実績 | 2024年12月期 予想 | 増減 | | |
|------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----|-----------|
| | | | 金額 | 増加率 | |
| ワークプレイス | 売上高 | 942 | 990 | +47 | +5.0% |
| | 営業利益 | 61 | 80 | +18 | +30.5% |
| | 〔営業利益率〕 | 〔6.5%〕 | 〔 8.1% 〕 | — | 〔+1.6pts〕 |
| 設備機器・パブリック | 売上高 | 368 | 370 | +1 | +0.4% |
| | 営業利益 | 19 | 20 | +0 | +4.9% |
| | 〔営業利益率〕 | 〔5.2%〕 | 〔 5.4% 〕 | — | 〔+0.2pts〕 |

2024年12月期 業績予想

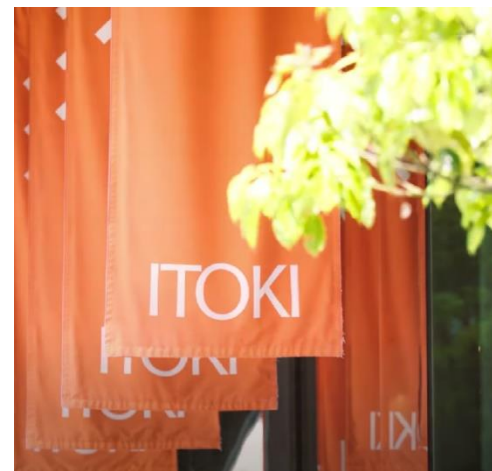
- ・2024年2月月初時点における保有商談の状況、前年同時期の保有商談額を100とした場合の当期保有商談割合
- ・ワークプレイス事業および設備機器パブリック事業の合算



明日の「働く」を、
デザインする。

We Design Tomorrow.

We Design WORK-Style.





<注意事項>

- 当社の連結決算は日本会計基準を採用しております。
- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。

<IRに関するお問い合わせ>

株式会社イトーキ

コーポレートコミュニケーション統括部 IR課

電話:03-6910-3910

E-mail:itk-ir@itoki.jp

<https://www.itoki.jp/ir/>

明日の「働く」を、  **デザインする。**